

PDF/X 運用

本章では、EQUIOSで運用するためのPDF/Xファイルの作成手順やその上での留意事項や制限について記載しています。

InDesignでのPDF/X作成手順

InDesignでは、以下の手順でアプリケーションからEQUIOSに最適なPDF/Xを直接作成することができます。

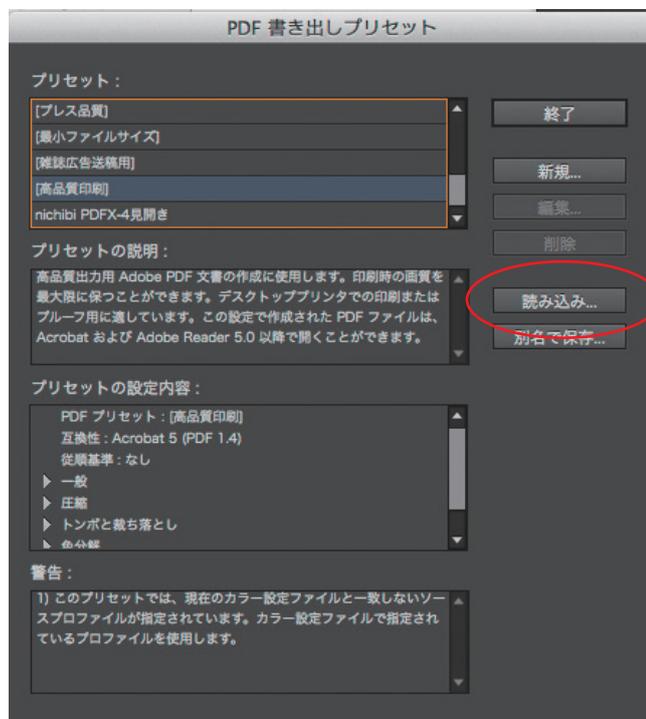


- EQUIOS X1a 2001_1_j.joboptions (PDF/X-1a)
- EQUIOS X4 2008_1_j.joboptions (PDF/X-4 CS3～CS5用)
- EQUIOS X4 trim 2008_1_j.joboptions (PDF/X-4 CS3～CS5用、トンボ付き)
- EQUIOS X4 2010_1_j.joboptions (PDF/X-4 CS5.5とCC用)
- EQUIOS X4 trim 2010_1_j.joboptions (PDF/X-4 CS5.5とCC用、トンボ付き)

ここでは、PDF/X-4の作成手順を記載していますが、PDF/X-1aの場合は設定の差異のみを横の注釈欄に記載しています。(推奨はPDF/X-4出力です)

各プリセットは、In Design のファイルから、PDF 書き出しプリセット⇒定義。

右側の、読み込みから各プリセットを登録して下さい。

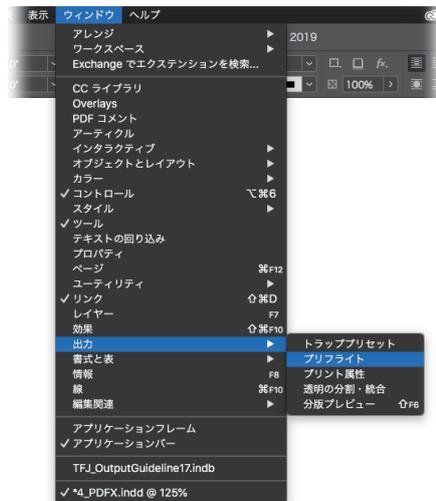


InDesign でプリフライト

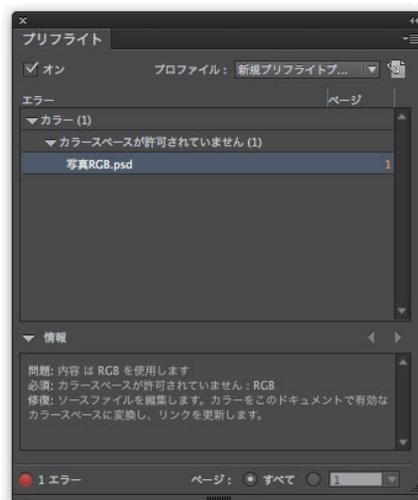
1. データをPDFで保存する前に、InDesignでプリフライトを行い、ここでは一例としてRGBが含まれていないかを確認します。*1)
2. ライブプリフライトなのでドキュメントウィンドウの左下にエラーが表示されます。



3. ウィンドウ／出力／プリフライト... を選択します。



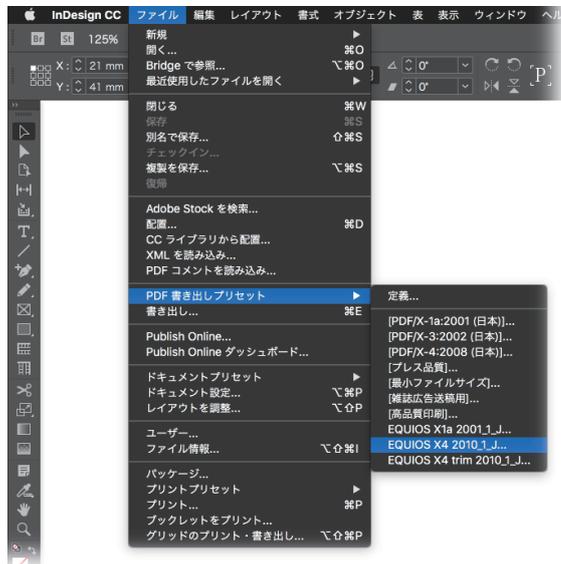
4. プリフライト結果がダイアログで表示されます。
「概要」もしくは「リンクと画像」でRGB画像の有無を確認できます。
「問題だけを表示」をONにするとRGB画像のみのリストを表示できます。



5. RGB運用の場合は「RGBワークフローのデータ処理手順」(P46)に基づいて必要な前準備を行って下さい。

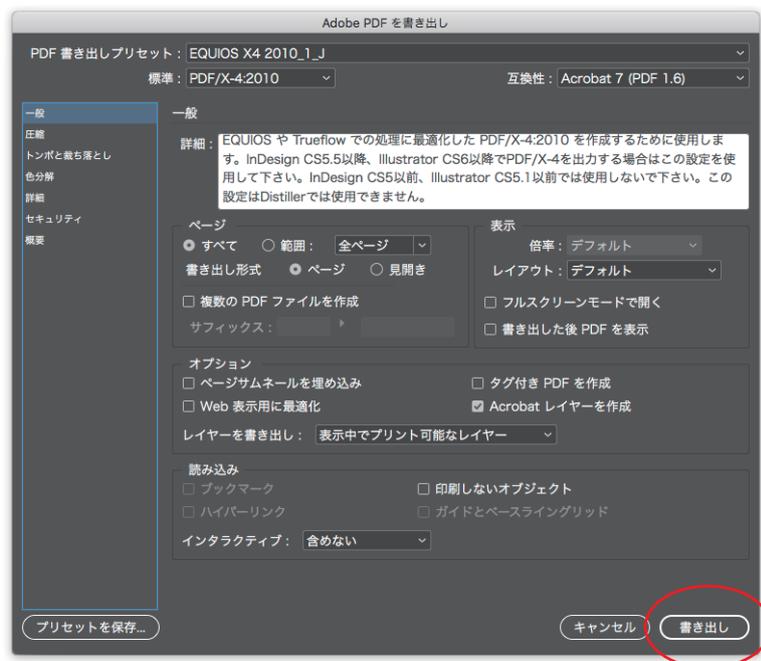
PDF書き出し

1. ファイル／PDF書き出しプリセット／EQUIOS X4 2010_1_J... を選択します。



2. 書き出しダイアログで、保存ファイル名と保存場所を指定し「保存」ボタンをクリックすると、PDF書き出しダイアログが表示されます。
それぞれのパネルにて、以降の記載内容にしたがって設定してください。

標準:	PDF/X-4:2010
互換性:	Acrobat 7 (PDF 1.6)
ページ	必要に応じて設定してください。



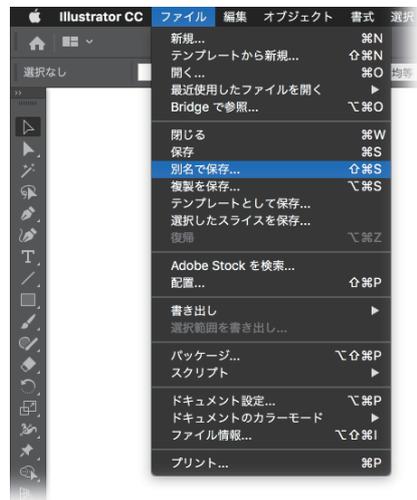
IllustratorでのPDF/X作成手順

Illustratorでは、以下の手順でアプリケーションから直接PDF/Xのプリフライトを通るPDFを作成する事ができます。

ここでは、PDF/X-4の作成手順を記載していますが、PDF/X-1aの場合は設定の差異のみを横の注釈欄に記載しています。(推奨はPDF/X-4出力です)

PDF書き出し

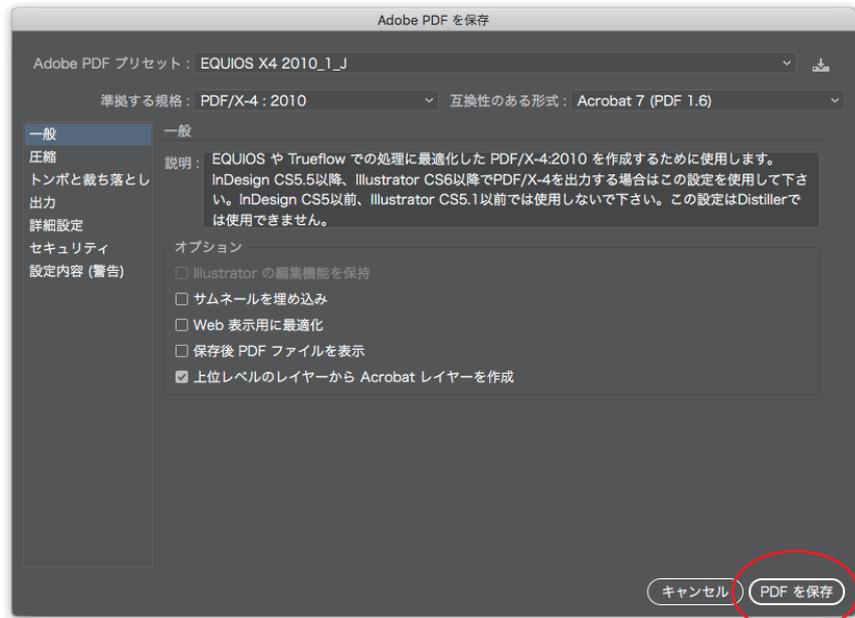
1. ファイル/別名で保存... を選択します。



2. 別名で保存ダイアログで、保存ファイル名と保存場所、フォーマットに「Adobe PDF (pdf)」を指定し「保存」ボタンをクリックすると、Adobe PDFを保存ダイアログが表示されます。
3. Adobe PDFプリセットで「EQUIOS X4 2010_1」...」を選択し、それぞれのパネルで、以降の記載内容に従って設定してください。

準拠する規格： PDF/X-4:2010

互換性のある形式： Acrobat 7 (PDF1.6)



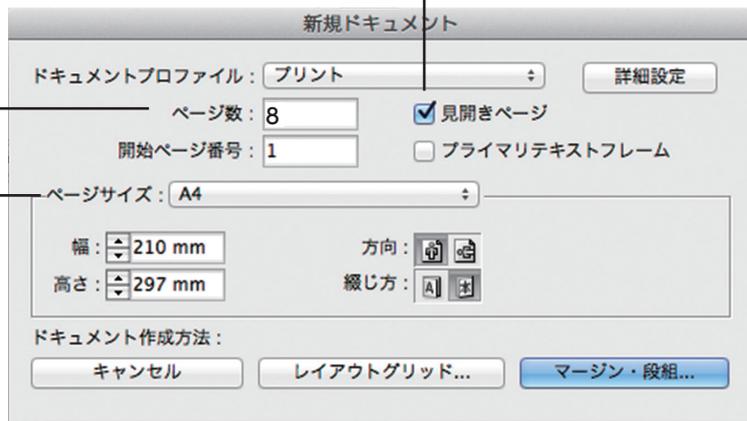
新規作成からPDF書き出しの注意点

InDesign

A4、8p例

制作は見開き可能

8p
仕上がりサイズ

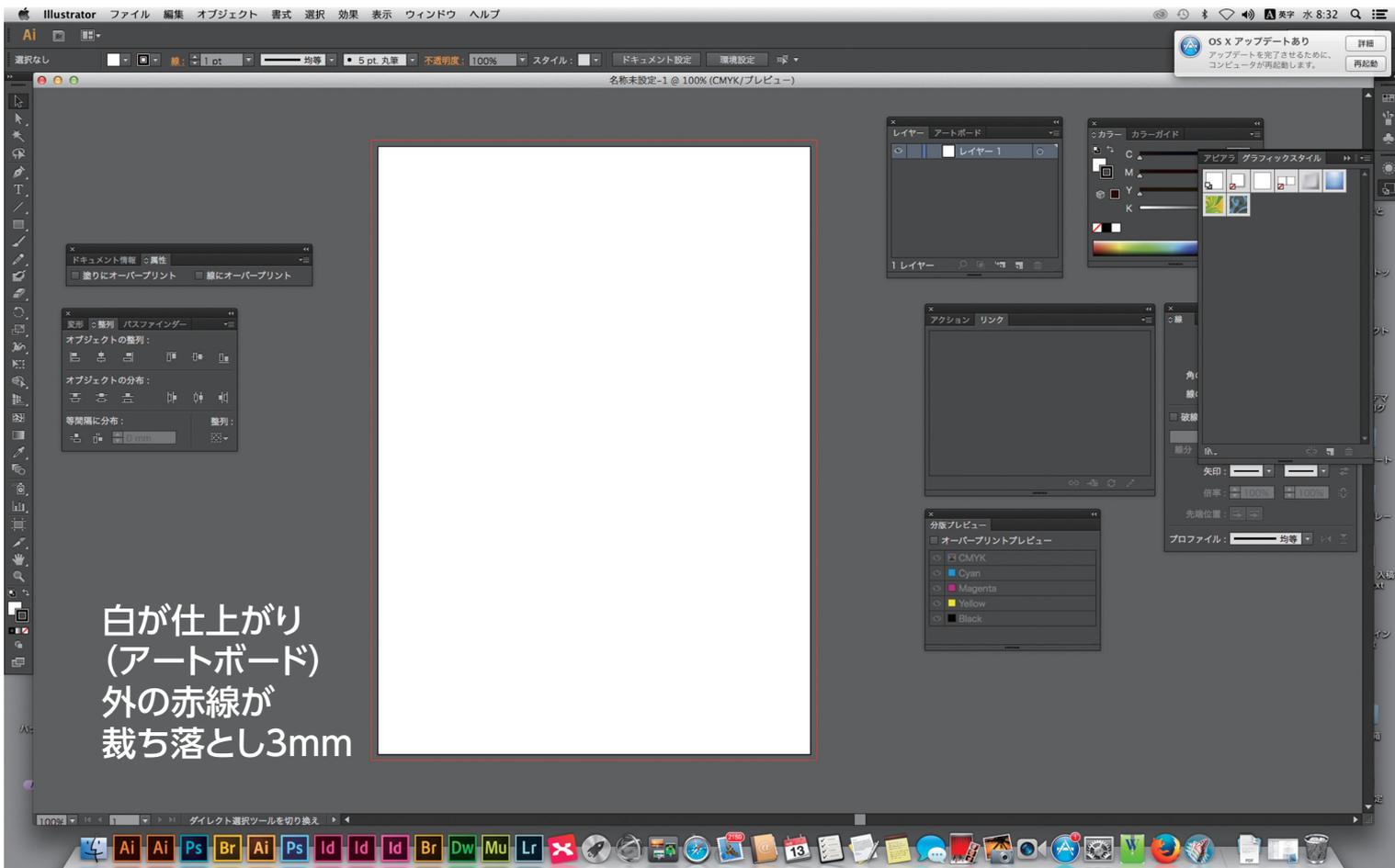
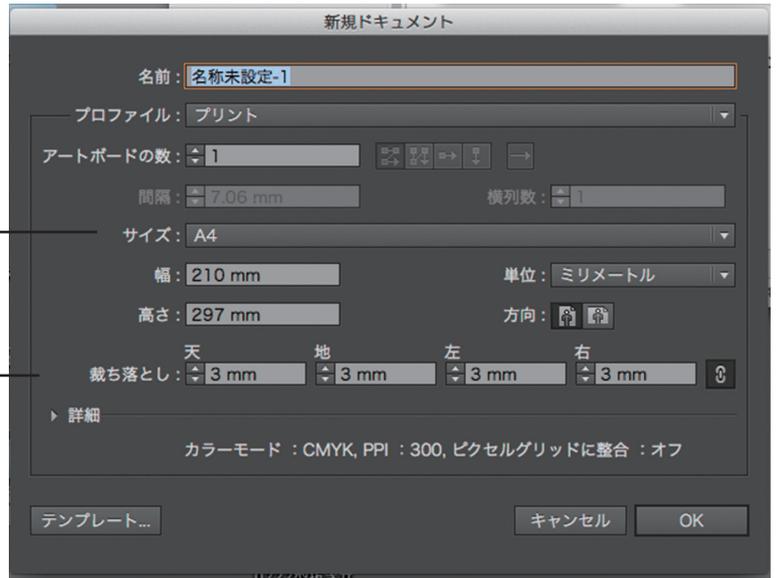


Illustrator

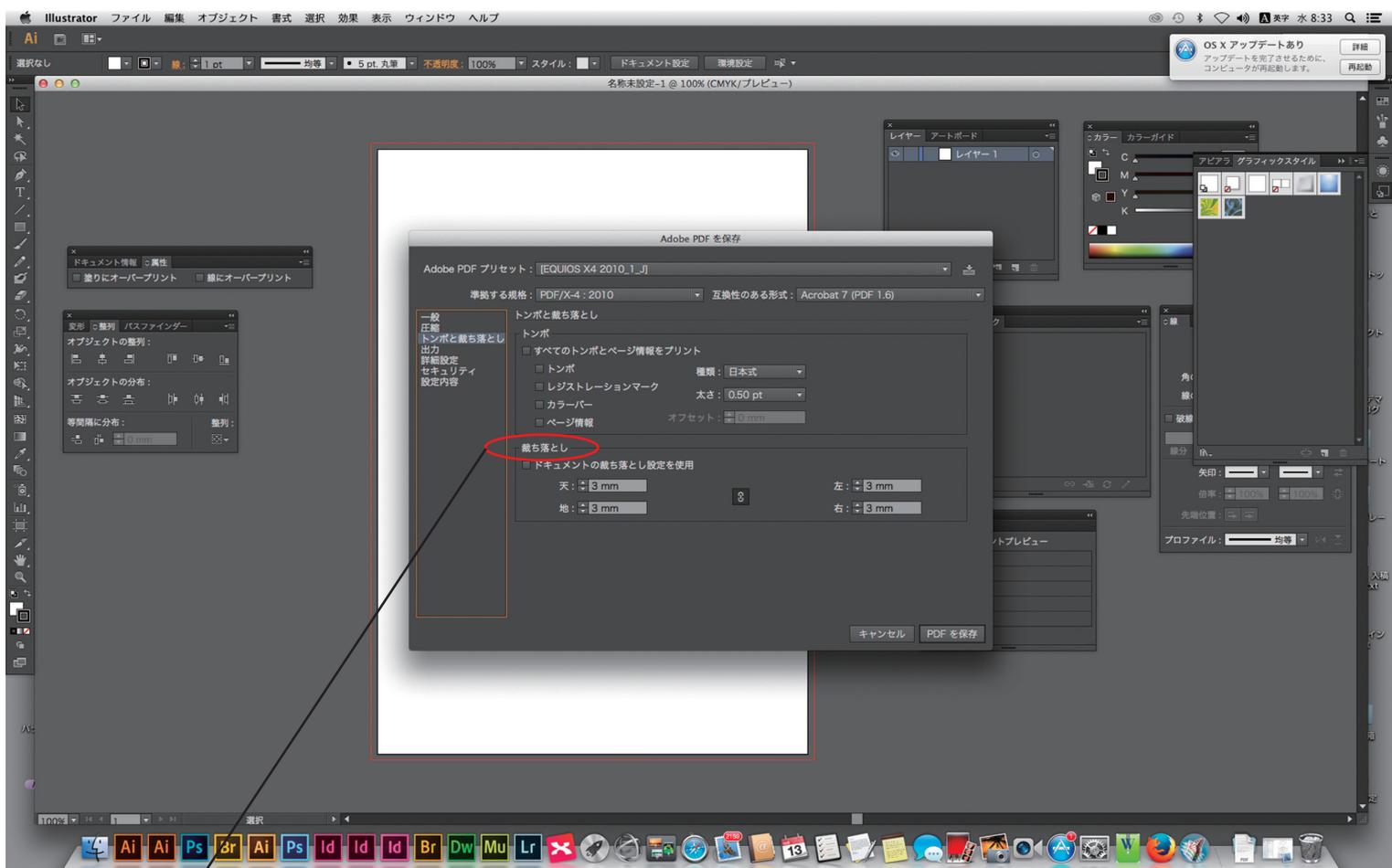
A4例

仕上がりサイズ

ここが3mmになっていないと、裁ち落としの線(下の赤いライン)が出ません。



PDF/X-4書き出し



注意
InDesign同様
ここが3mmになって
いないと、裁ち落とし
が出ません。
(0mmだと仕上がった
PDFになります。)